

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-111

学校名・団体名	熊本市立中島小学校
HPアドレス	http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/school/e/nakashimaes/index.htm
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	夢実現プロジェクト～オリンピック出場へ～
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本校や地域の特色を生かし、被災後の子どもたちに、郷土出身のオリンピック選手に直接走り方を指導してもらったり、地域住民と共に講話を聴いたりする取組を通して、これまで以上に地域や学校に活気と元気を呼び込みたいと考えた。</p> <p>また、本年度の熊本市小体連陸上競技大会での記録更新、ひいては将来、東京オリンピック出場という大きな夢に向かって努力する児童を育てたいと考えた。同時に、小体連陸上大会に校区の老人会を招待し保護者と共に児童の頑張りを応援する活動を通して、児童や保護者、地域住民に明るい希望と生きる勇気が持てるような取組を企画した。</p>	

1 活動内容

- (1) 対象者 4,5,6年生(98名) 指導場面は1,2,3年生も見学参加。保護者(148名)と地域住民
- (2) 教科 体育「陸上運動」、行事 (保護者、地域の方も含む)講話「陸上競技を通しての生き方、考え方」
- (3) ねらい
 - ・体育の授業で、講師の方に、世界レベルの知見を生かした「走り方のポイント」を指導してもらい、よりよい走り方を体感する。
 - ・夢を持ち前向きに努力する生き方にふれ、今後の自分の夢の実現のために困難に立ち向かい努力しようとする心情を培う。

2 活動の特色

- (1)郷土出身で、ロンドンオリンピック陸上100メートル出場した江里口 匡史氏の講演会や子どもの活躍する陸上競技大会に、地域の高齢者を招待する活動を行う。子どもの元気な姿や学校の取組を地域に発信し地域復興の一助とする。
- (2) 江里口匡史氏による陸上教室を開き、高学年児童と触れ合い、走り方を直接指導してもらい、世界レベルの走りを全児童に目の前で見せる。あわせて、講演会で、様々な苦勞を乗り越え夢を実現したこれまでの体験や前向きな生き方を伝え、被災後の子どもや地域の方々に元気と希望を与える。
- (3) 江里口氏から書いてもらったサインを背中にデザインしたユニフォームを作成し、陸上大会で参加児童全員が身につけ参加した。

3 活動時期および内容

7~8月 企画、提案活動実施に向けての条件整備

9月 職員会議、PTA 役員会にて本企画を提案し協力を依頼。実施計画案作成、物品購入講演会および記念イベント実施 (地元 TV や新聞社に事前連絡)

10月 高学年児童対象の江里口氏による陸上教室および地域住民、保護者を招待しての講演会実施
陸上教室で学んだ練習方法を生かし熊本市小体連陸上競技大会練習実施
陸上競技大会参加 (地域の高齢者を競技場に招待)

11月 江里口選手にお礼の手紙を送る。



陸上教室の様子

5 成果

本校は地域住民から「育友会費」というかたちで寄付金をいただき、教育活動に生かしている。地域の絆、学校支援体制は本市でも有数の校区である。しかし、本年度、熊本地震の影響で校区独自で開催してきた花火大会も中止されるなど、いたるところにその影響が出た。

熊本地震という未曾有の体験をした本年度、「地域の宝」である子どもたちの笑顔、活躍に触れ共に喜びや感動を共有することこそが学校や地域の復興につながると考え本取組を実施した。

陸上教室及び講演会には保護者や地域住民を含め、のべ342人の参加を得た。また、陸上教室の効果もあり、本校5年生400メートルリレーでメダルを獲得するなどの好成績も残すことができた。江里口選手のサインを背中にプリントしたユニフォームは子どもたちはもとより地域の方からも大好評であった。参加された高齢者の笑顔がとても印象的だった。

一連の取組が本校児童や本校区の地域住民に元気を届けられたと感じている。



陸上大会に招待した老人会の皆さんと児童